

3M Architectural Markets
Instruction Bulletin

取扱説明書

3 M™ ホワイトボードフィルム WH-200

【適用範囲】

本書は3 M™ ホワイトボードフィルム WH-200 に適用します。

【貼付施工】 基本的な貼付施工方法は3 M™ダイノック™ フィルムに準じます。（3 M™ダイノック™ フィルム見本帳「Product Information」参照）

1.作業環境

1) 作業温度

フィルムの貼り付けは雰囲気温度12℃～38℃で行ってください。最適温度範囲は20～25℃です。

2) 作業環境

ホコリや細かいチリが貼り付け基材とフィルムとの間に入ると仕上り表面に突起が生じる原因となります。貼り付け作業前に作業場所周辺の床を清掃するとともに、作業中チリやほこりが立たないような工夫をしてください。

2.貼付下地

- ・フィルムを伸ばすと表面層が損傷するので平面または2次曲面に貼付してください。伸縮を伴う3次曲面には貼付できません。
- ・下地基材の表面性が外観に大きな影響を与えます。貼り付けに適しているのは平坦な鋼板（焼付け塗装鋼板を含む）です。その他にも3 M™ダイノック™ フィルムが貼り付け可能な下地に貼ることが出来ますが、選定に際しては事前に意匠性（表面性）を確認することをお勧めします。また、下地の表面調整は丁寧に行ってください。
- ・焼付け塗装鋼板に施工した場合、下地塗料の表面揺らぎ（ゆず肌）を拾い、塗装だけのときよりも凸凹が強調されて見える場合があります。
- ・パネルなどの下地のパネルのつなぎ目を跨いで貼付けると、後でパネルが動いてシワが発生することがありますのでご注意ください。
- ・下地の目地をパテで埋めた場合は、パテが割れてフィルム表面に筋／シワが発生して浮いてくることがある

のでご注意ください。

3.貼付

1) 貼り付け下地の表面調整

- ・サンドペーパーで下地の表面を研磨して平滑にしてください。また必要に応じて、へこみ部分をポリエステルパテで埋めて研磨し、平滑にしてください。ゴミや汚れはシンナーを含ませたウエスで拭き取ってください。

2) プライマー塗布

- ・各種鋼板では3 M™プライマー-DP-900N3を周囲4辺とジョイント部に塗布してください。プライマーが完全に乾燥してからフィルムを貼り付けてください。
- ・アルミニウムやステンレスの場合はプライマーとしてEC-1368NTを推奨しますが、希釈倍率が低いとハケ目が見えることがあります。

3) フィルムの貼り付け

- ・正確に位置合わせを行い、一回で貼り付けてください。フィルムがしわになったり曲がっていたりした場合、貼り付いたフィルムを引っ張って剥がすとフィルムに折れ目がつくことがあります。
- ・ネルなどの柔らかい布を巻きつけたプラスチック製スキージー(3 M™スキージーPA-1等)で、フィルムを貼り付けてください。
- ・フィルム貼り付け後、気泡が入っていないことを確認してください。

4) 気泡の処理について

- ・気泡が入った場合は、気泡を追い出すようにフィルムを圧着してください。(気泡が抜ける粘着剤を使用しています)
- ・針などでフィルムに穴をあけて気泡を追い出すと、施工後、フィルムの穴にホワイトボードマーカーの色や汚れが溜まります。フィルムには穴を開けないでください。

【注意事項】

基本的な注意事項は3 M™ダイノック™ フィルムに準じます。(3 M™ダイノック™ フィルム見本帳「Product Information」参照)

■製品に関する注意事項

- ・本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・本製品は、表面に傷が付くと凹部にマーカーのインクが入り込み書いた文字(インク)が消去できなくなることがあるのでご注意ください。
- ・本製品は、出隅コーナーへの折り曲げ箇所などに貼付することが出来ますが、折り曲げ角に付着したインクが消えない場合があります。
- ・本製品は3 M™ダイノック™ フィルムと比較して引裂強度が低い(裂けやすい)ので取扱いにご注意ください。

さい。

■下地に関する注意事項

- ・貼付面は平滑表面および2次曲面です。3次曲面に貼ることはできません。
- ・折り曲げシ口は6mm以上とってください。
- ・パネルなどの下地のパネルのつなぎ目を跨いで貼付けると、後でパネルが動いてシワが発生することがありますのでご注意ください。

■貼付に関する注意事項

- ・本製品は、脆いので衝撃が加わると裂けたり割れたりすることがありますので取扱いにご注意ください。
- ・フィルムのエッジで手などを切る恐れがありますので、フィルムの取扱いには十分にご注意ください。特に端材のフィルムの取扱いにはご注意ください。
- ・貼り剥がし作業はフィルムに折れジワが発生しますので避けてください
- ・下地の平滑性／不陸（凹凸）などが、筆記性／消去性に影響を与えますので、施工前に確認してください
- ・本製品は、表面に傷が付くと凹部にマーカのインクが入り込み書いた文字（インク）が消去できなくなることがあるのでご注意ください。
- ・本製品は、ヒートガンなどで過度に加熱されると表面が変形し、インクが消えにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- ・突き合わせ貼りの際、突き合わせ部が線状に目立つことがあります。事前にご確認のうえ施工してください。
- ・本製品は、基材面温度が12℃未満の場合はフィルムが裂け易く、十分な初期接着力が得られません。貼付下地が貼り付け温度範囲内（12℃～38℃）であることを確認し施工してください。確認方法は接触式温度計では熱電対式温度計、非接触式温度計では赤外線式温度計などが一般的です。
- ・本製品は、結露し易い場所では十分な接着力が得られないことがありますのでご注意ください。
- ・本製品は、水貼りには適していません。

【清掃／メンテナンス】

- ・フィルムの表面が汚れた場合は、きれいな布を用いて水拭きしてください。
- ・水拭きの際、洗剤（酸性、アルカリ性、中性を問わず）を使用しないでください。界面活性剤を含む「ホワイトボード用クリーナー」も使用しないでください。
- ・ホワイトボード用マーカー以外のペンは使用しないでください。間違えて書いてしまった場合はすぐに3M™クリーナー20で拭き取った後、きれいな布を用いて水拭きしてください。
- ・ホワイトボード用マーカーの種類によってはインクが僅かにはじく場合があります。その時はレーザーでホワイトボードの表面を一度拭いてください。

- ・筆記と消去を繰り返しているうちにイレーザーでは消しにくくなる場合があります。また筆記後消去せずに時間が経つと消しにくくなります。汚れがひどくなった場合は、布などの柔らかいもので水拭きをしてから乾拭きしてください。（参考：当社製 3 M™ スコッチ・ブライツ™ ワイピングクロス No.5000 をお奨めします）
- ・イレーザーや受け皿に付いたマーカの粉はこまめに掃除し、きれいに保ってください。
- ・シンナーなどの有機溶剤はフィルムを侵す場合がありますので使用しないでください。
- ・かすれたマーカは消えにくい原因になりますので、早めに新品と交換してください。
- ・マーカの「インクかす」がフィルムに付着するのを防ぐため、イレーザーは早めに新品と交換してください。水洗いできるイレーザーは定期的に水洗いしてください。

【保管】

過度の湿気や直射日光を避け、周囲温度 38℃以下の清潔な場所に保管し、購入後 1 年以内にご使用ください。

【廃棄】

本製品の主素材は塩化ビニル系樹脂です。自治体の法令/指示に従って廃棄処分してください。

- 4 / 4 -

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて負うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。

3 M、DI-NOC、ダイノックは、3 M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
<http://www.mmm.co.jp/cmd/>

© 3M 2020. All rights reserved

IB-019-0

2020/5/1